

日吉台地下壕保存の会

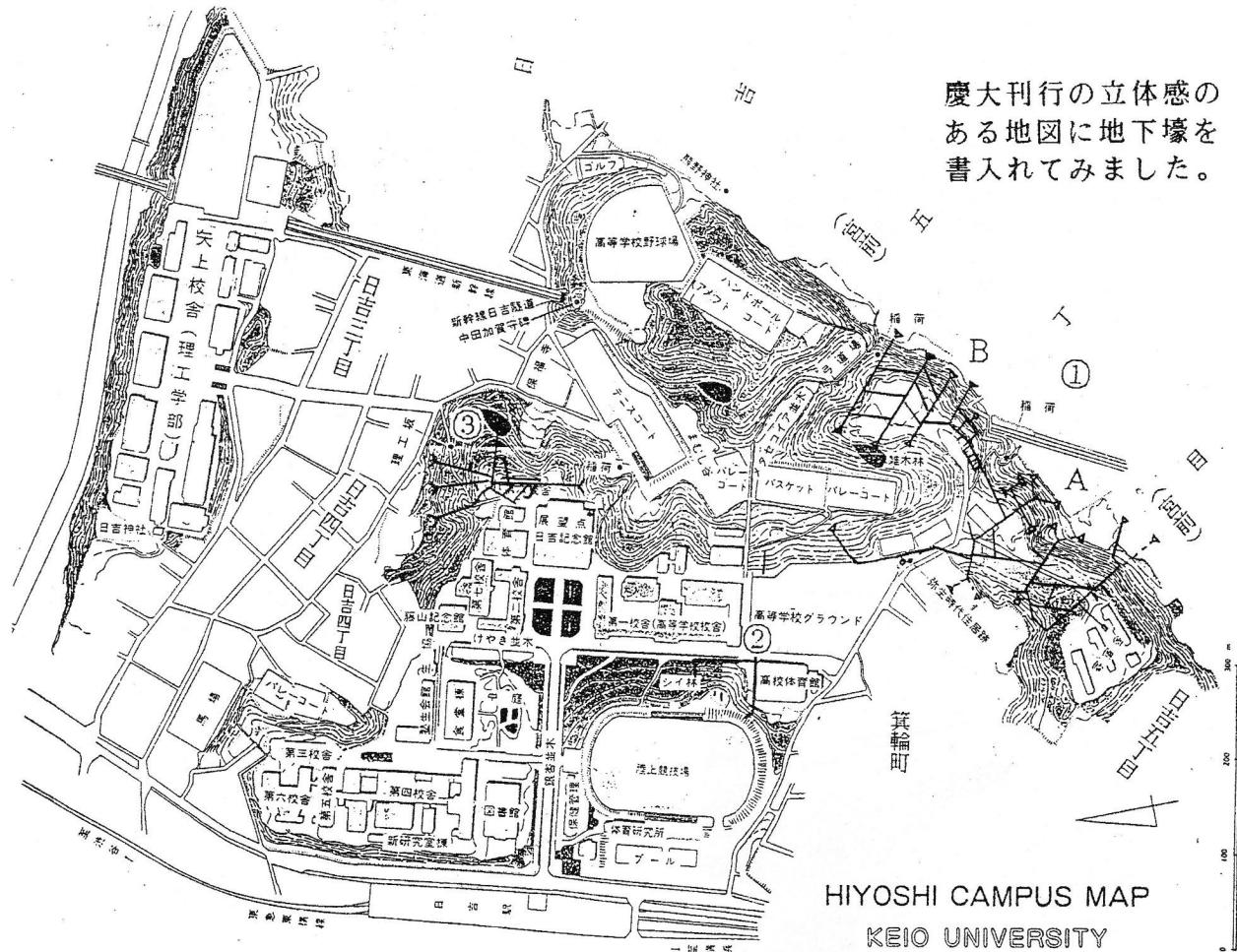
会報

第28号

発行 日吉台地下壕保存の会
編集 事務局

223 横浜市港北区下田町3-15-27
寺田方 TEL.045-562-1282
(年会費) 一口千円で、一口以上
郵便振込 (口座番号) 横浜 5-74921
(加入者名) 日吉台地下壕保存の会

慶大刊行の立体感のある地図に地下壕を書入れてみました。



目次

ページ

目の鱗を落としてこそ	2	連載日吉台地下壕
新聞記事二題	3	当時の関係者の思い出話 5
日吉台地下壕保存の会		幹事会報告 7 ~ 8
第6回総会	4 ~ 6	お知らせ 8
		何か書いてみませんか 8

田の蠶を落としてこそ

副会長 東郷秀光

私は慶應義塾に勤めてすでに二〇年になるが、日吉台地下壕の存在を知ったのは比較的最近のことである。「保存の会」の活動のお陰である。しかしこれまでに何度か地下壕見学会の機会があつたのにいまだに入つてもいいのはどうしたことであろう。

私たちには戦争を体験した世界である。小学校（当時は国民学校）に入学した年に太平洋戦争が勃発した。高校に入った年には朝鮮戦争が始まり、大学の教師になった時にはベトナム戦争が戦われていた。湾岸戦争が戦われたのもつい最近のことである。

朝鮮戦争にもベトナム戦争にも日本がその足場を提供し

示す通り、日語各地で焼を保存することを目的としている。しかし同時に保存することの意義を明らかにして、一人でも多くの人々と共に戦争と平和の問題を考えて行くこともその目的である。しかしこういう活動は戦争に反対する」とだからライデオロギー的だ、政治活動だ、という心理的抵抗が出てきはしないだろうか。しかし考えてみると、私は

ていた。そういう過去があるために私たちは戦争に敏感だと頭の中では思っている。しかしこの思いがいつの間にか固定して、独り善がりを生み、現実には足が動いていないという事実に直面するのである。

ちが誇りにしている日本国憲法は戦争の否定というイデオロギーの上に立っているものである。それなのに憲法の精神に忠実であるうとすると人を躊躇わせるのは何故だろ
うか。

(慶大經濟學部教授 英語 ·
英文學)



新規開拓記事 第1題

少々古い記事になりますが、保存の会と関連がありますので、ご紹介します。



大倉山記念館

戦争展を見て

無職 山口 勇雄 77

小春日和の大倉山記念館は、町の騒音から開放され、別世界のようだった。館内には「平和のための戦争展」が開幕していた。

今から五十年前、港北区日吉の日吉台に位置する連合艦隊指令部の地下壕（どう）の跡地の写真展である。

厚さ四十㌢のセメントに

食事も十分に与えられていなかつたというから、さながら地獄のような光景であつたろう。いつもながら戦争の悲惨さは言葉には言い表わせない。裏腹に、完成後の壕内には物質の貯蔵は豊富で、指揮官の食事は三食、ワイン付きで、当時の私たちの食生活には到底考えられないものだった。

敗戦の色濃くなつたころは、ここから海軍の作戦指令が出ていた、といり。地下壕の掘削には苛酷な労働が強いられ、強制的に朝鮮人労働者が二十四時間昼夜兼行の三交代で働き、一番危険な所を掘らされた、といり。

覆われた五㍍に及ぶ壕内。

「」の言葉が印象的だつた。

(横浜市港北区鳥山町)
神奈川新聞

九四年三月七日

天声人語

戦時中の大本營の防空壕に入

ったみた。外は暑いのに中はひんやりとしている。ずいぶん立派な地下壕である。地表から一四㍍、夏も冬も、ほぼ同じ温度だという。広さ千二百平方㍍余の、地中の本丸である▼ここから様々なる指令や発表文が出されたのが……歴史的な場所に立つ時に特有の、独特的の感概を催す。厨房や貯水槽の跡が残っている。地下水を使つたのだろう。東京は市谷入り、今は陸上自衛隊東部方面總監部などがある。三島由紀夫が自決した部屋も

上屋敷があった。いまは、

ある▼戦時中だけではなく戦後

の出来事をも生々しく思い出させる建物である。極

ある▼一八七四年（明治七年）に、ここに陸軍士官学校が創設された。戦時中は

三宅坂から移つた陸軍省、

陸上自衛隊市ヶ谷駐屯地で

東軍事裁判の法廷となつた

講堂が残つてている。裁判に

ついての見方は様々だらう

が、ベージュ色の三階建ての一號館を見ていると、こ

れこそ本格的な戦争資料館

として利用するにふさわし

い、と思う▼若い人々に現

代史を知つてもらいたい。

それには「現場」に立つの

が最善だ。「平和祈念館」

の中には、戦争中の千人針

館」がある。様々な展示物

の中には、戦争中の千人針

もある。若い人は、見たこ

とがないだろう。防空壕に

は、最大の建物、一号館の

もある。若い人は、見たこ

とがないだろう。防空壕に

は、最大の建物、一号館の

が最も善だ。「平和祈念館」

を新築するより、戦前、戦

中、戦後の生き証人である

地下の廊下、売店の横から

が最も善だ。「平和祈念館」

に入る▼この建物は一九三七

年（昭和十二年）に陸軍士官学校本部として建てられ

た。戦時に陸軍省などが

所にしてはどうだろう。

これを取り壊すとは、あま

りにももつたいない。再考

して、内外の人々が学べる場

所にしてはどうだろう。

これを取り壊すとは、あま</

日吉台地下壕保存の会 第6回総会

1994年度日吉台地下壕保存の会

運営委員・会計監査候補者

会長	鮫島 重俊
副会長	薄井 芳夫
"	田辺 和男
"	東郷 秀光
事務局長	寺田 貞治
幹事	谷 栄
"	石田 誠吾
"	加賀谷 欣之助
"	小園 優子
"	茂呂 秀宏
"	佐相 康雄
"	谷藤 基夫
"	馬瀬 昌徳
"	亀岡 敦子
"	馬養 貞子
"	白鶴 邦子
"	喜田 美登里
"	橋本 ミチ子
"	足立 英宣
"	岡上 そう
"	林 ちづ
"	中沢 正子
"	大西 章
会計監査	森山 高行
"	天野 高子
顧問	永戸 多喜雄
"	秋本 謙三
"	田辺 昇
"	佐藤 林平

四月一六日午後、慶大日吉が開かれた。冒頭の鮫島会長の挨拶では、昨年度の慶大との非公式の会見を中心とした保存についての動きが語られ、締めくくりの挨拶に立たれた東郷副会長からは、「動きの活発でない自分のような普通の者が保存にかかわるところにこの会の意義がある」という趣旨のお話があり、参加者の心に灯をともされて、閉会となつた。

1993年度決算報告(案)

(単位は円)

	1993年度予算	1993年度決算	備考
収入の部			
会費	372000	521600	
カンパ	0	31154	
利息	0	12500	
事業益	0	304667	
繰越金	837592	837592	
合計	1209592	1707513	
支出の部			
会議費	20000	17621	各種会合費
事務費	40000	47634	事務用品
印刷費	700000	633994	会報、パンフレット等
通信費	240000	191176	会報その他郵送代
資料費	50000	31803	資料集等
謝礼	80000	40980	講師・調査等
交通費	30000	58800	全国交流会参加等
予備費	49592	309584	川辺制作費・賛同金
合計	1209592	1331592	
差引残高			
計	0	375921	

以上の通り報告します。

日吉台地下壕保存の会事務局長 寺田貞治 印

1994年4月8日

この報告により収支を監査したところ適正に処理されていることを認めます。

会計監査 森山高行 印

会計監査 天野高子 印

~~~~~  
 表題の字は当日黒板にはりだした題字でワープロがえがきだした大文字を縮小しました。

## 1993年度活動報告(案)

旧海軍連合艦隊司令部の地下壕跡を、戦争と平和を考える原点として、また、後世に伝える貴重な遺産として永久に保存するため、保存をすすめる会が発足してから満5年がたち、第6回総会を迎えました。

この間、私達の運動は確実に前進してまいりました。現在までに登録された会員の数は、個人619名、団体5になります。運営委員会1回、幹事会12回開催しました。会報は、5回発行しました。

保存の会の具体的活動としては、昨年4月の総会の時、カンボジアの難民の方と国際保健協力市民の会代表の方に来て頂いて、「カンボジアと、日本の国際貢献をめぐって」パネルディスカッションを行いました。5月に日吉台地下壕の小冊子を発行、7月に蟹ヶ谷の地下壕の見学会を開催、7月31日～8月2日に全国交流集会が奈良県で開催され幹事3人が参加しました。また、7月に旧登戸研究所の調査研究している人たちと共に、第2回平和のための戦争展実行委員会を結成し、2月の実施日までに8回の実行委員会を開きました。

戦争展のイベントとして、12月に旧登戸研究所、1月に日吉台地下壕の見学会を行いました。戦争展は、横浜市と横浜市教育委員会の後援を得て、2月9日～13日の5日間、大倉山記念館で、前回よりも一層充実した展示ができ、大雪にもかかわらず延べ1800余人の来館者があり、成功裡に終りました。アンケートによると、この戦争展の評価は高く、私達の運動への期待の大きいことが伺われます。松代大本營の話は私達の運動の参考になり、戦争体験者の話は戦争の非情さ・残虐さが余すところなく語られ、改めて平和の尊さと私達の運動の重要性を痛感しました。

各種団体の地下壕見学会は、「品川平和のための戦争資料展実行委員会」「川崎市の小中高の先生方」「慶應生協学生委員会(2回)」「ピースサイクル」「平和と文化を守る会」「豊島区郷土資料館」「横浜市高校教職員組合」「元海軍軍人の会(横浜水交會)」「川崎高校の先生と生徒」「慶應普通部歴史研究会」「のむぎオープンスクール」「新吉田小学校の先生方」「横浜市史編集室」などの団体からの申込があり、延べ500名近くの人々を案内しました。

新聞やテレビなどのマスコミにも、戦争展のことを含めて例年同様、何度も取り上げられました。調査活動では、旧海軍関係者や地元の方からの証言が寄せられ、新たに判明したことが幾つかありました。

地下壕の保存については、要望書を県や市に提出してから1年以上たった昨年7月、市から「史跡として保存し、見学できるよう整備することは困難である」との回答がありました。1993年度より幹事5名が、港北区民会議委員として区民会議に参加することになり、機会あるごとに保存についての理解を呼びかけています。少しづつ区や市の理解も増してきたように思いますが、まだまだ壁の厚さを感じます。慶應義塾については、会長と事務局長が2人の理事と非公式に会談したところ、関心も深く、理解を示してくれました。

最近、全国的に戦争の遺跡の保存や平和館の建設の運動が起こっています。沖縄の南風原町では、1989年に南風原文化センターが建設され、沖縄戦の常設展示場が造されました。さらに1990年には「南風原陸軍病院壕」を文化財に指定しました。岐阜市では1993年に「岐阜市平和館をつくる会」が結成され、松代でも平和館の建設へ向けて動きだそうとしています。このような全国的な運動の高まりの中で、私達の運動も希望が見えてきたように思います。以上で1993年度の活動報告を終わりります。

## 1994年度活動方針十(案)

昨年、細川政権が誕生し、日本の政治は新たな段階を迎えました。また、内戦や局地戦争は世界の各地にみられ、紛争の芽も絶えません。いつ日本も世界も激しく流動化するかも知れません。

私達は、世界的な視野に立った平和の構築と共に、身近なところで日本の過去の戦争の実態を学び、一人一人の心の中に平和の尊さを呼び起こし、再び悲惨な戦争を起こさないようにしていかなければなりません。そのために、残された数少ない貴重な戦争の遺跡を、戦争と平和を考える原点として後世に残すために、私達は更なる努力が必要かと思います。もちろん、地道な調査活動を精力的に進め、さらに戦争の実態を追求していく努力もしていかなければなりません。

また、横浜市には、川崎平和館のような戦争の実態を学習する所がありませんので、地下壕の保存と共に平和館または平和資料館の建設の運動も進めていく必要があります。

来年は、第2次世界大戦の日本の敗北から50周年になります。それに向けて、私達は日吉台地下壕の保存運動を盛り上げ、県や市、慶應義塾当局に対し、陳情その他、効果的な対策を打ち出し、保存の確証を得たいと思います。

第3回平和のための戦争展は、できれば慶應義塾日吉キャンパスで開催し、慶應義塾の教職員や若い学生にも関心を持っていただき、保存への理解を深め、地域の人々にもアピールして、世論を盛り上げていきたいと思います。今年度も御支援、御協力の程をよろしくお願ひ申し上げます。

以上で運動方針案の説明を終わります。

## 1994年度予算(案)

(単位は円)

| 収入の部 |        |            | 支出の部 |        |         |
|------|--------|------------|------|--------|---------|
| 会 費  | 360000 | 360人×1000円 | 会議費  | 20000  | 各種会合費   |
| カンパ  | 0      |            | 事務費  | 60000  | 事務用品等   |
| 利 息  | 0      |            | 印刷費  | 100000 | 会報その他   |
| 事業益  | 0      |            | 通信費  | 300000 | 会報等郵送代  |
| 繰越金  | 375921 |            | 資料費  | 50000  | 資料集等    |
|      |        |            | 謝 礼  | 50000  | 講師、調査等  |
|      |        |            | 交通費  | 60000  | 交流会、調査等 |
|      |        |            | 予備費  | 95921  | 賛同金等    |
| 合 計  | 735921 |            | 合 計  | 735921 |         |

[補足説明] 収入の部の会費収入は、1993年度の会費納入者が360人だったので、  
 $1000\text{円} \times 360\text{人} = 360000\text{円}$ とした。

連載

日吉口・口地下壕  
当時の関係者の  
思い出話 5

## 土地の買収

突然、土地を買収された地  
元の方々のお話です。

ききて・寺田貞治

★K1氏・箕輪  
昭和一九年の初め、安立理  
事官という人がやつてきた。  
この安立氏に屋敷の奥のほう  
二千坪を一万六千円で強制的  
に買収された。「売らないと  
軍は威張つていた。」

★K2氏・箕輪

一九年の末頃、突然、屋敷  
に測量にきた。しばらくして  
「海軍に印鑑を持つて来い」

と呼出された。「軍が使いた  
いから土地を買上げる」とい  
われ、仕方なく印を押してき  
た。当時坪二円で買上げられ、  
家を山の麓から、外側に移さ  
れた。乱暴な移動のため、家

がガタガタになつて住めなく  
なり、近くの大聖院に厄介に  
なつていた。

★M氏・日吉本町

地下壕を掘るため、海軍か  
らの要請によつて、内務省に  
土地を強制的に買上げられた。  
坪一円位だったのではないか。  
内務省の役人が一軒一軒歩い  
て、「これだけ買上げる。家

## 近づく建物除却

廿三地区を指定し

東京 大阪 空襲の被害を局限  
関係者だけに画面縦覧

地を見学

四、三月五日ピースサイクル

主催の会で地下壕の講演。

寺田。

五、同一日運営委員会、総

会について打合せ。鮫島、  
寺田、白鶴、亀岡、喜田出

く一九年より  
本の歩み昭和一七

六、同二五日幹事会と発送  
席

一八年三月三〇日

七、三〇日横浜市史編集室職

の見出し

つて移動させた。

★A1氏・宮前

地下壕を掘るので、家を山  
根(山ぎわ)から離れた所に

移転させられたが、補償はな  
かつたようだ。

★A2氏・宮前

土地を海軍に測量されたが  
買上げられなかつた。

(生協ニュース教職員版第四  
九号より抜粋転載)

二、同二七日登戸研究所見学  
会10名参加

三、同二八日大倉山の沢村氏  
に、寺田、岡上が聞き取り調  
査。近くの海軍図書倉庫跡

地を見学

四、三月五日幹事会と報生口  
報告

第一回幹事会と報生口  
三月二五日一八時、  
慶心高校地学教室

一、二月二六日新吉田小の先  
生方の地下壕見学会一三名  
参加

- |                                                         |                              |                                                                     |
|---------------------------------------------------------|------------------------------|---------------------------------------------------------------------|
| 九、四月五日新横浜懇話会で地下壕の講演予定。寺田。                               | 一〇、同一六日第六回総会予定               | 日吉地区センター報告                                                          |
| 一、四月三日相模田名高校社会科研究会地下壕見学会                                | 二、同八日会計監査                    | 一一、同二五日慶應生協教職員会の地下壕見学会予定                                            |
| 委員会の地下壕見学会予定                                            | 一〇余名参加                       | 一二、朝鮮人強制連行真相調査団の地下壕見学会予定                                            |
| 行委員会より、日吉台地下壕と登戸研究所の写真の貸出し依頼があり、一回につきそれぞれ五千円戴くことになつた。   | 四、五月九日慶應生協学生委員会地下壕見学会三十名     | 一三、一九日ピースサイクルの地下壕見学会予定                                              |
| 三、朝鮮人強制連行強制労働について考へる会第五回全国集会（松本市・七月三〇三一日）のための賛同金*五千円を送金 | 五、同一二日慶應高校三年M組の地下壕見学会予定      | 一四、願い                                                               |
| 一ふれあい教室の地下壕見学会予定                                        | 六、同一七日慶大白井ゼミの地下壕見学会予定        | 一九九四年度の会費をお送りいただきたく、振込用紙を同封しますので、よろしくお願ひいたします。すでにお納め下さった方有難うございました。 |
| 一〇、同一九日法政二高・清                                           | 七、六月六日神奈川生協港北支部平和委員会地下壕見学会予定 | 一、今後の活動について                                                         |
| 幹事会第一回                                                  | 八、同一二日緑区小・中学校教職員の地下壕見学会予定    | *事務局体制                                                              |
| 五月一〇日一八時)                                               | 九、同一五日網島地区センターハウス第一回         | 庶務..亀岡、馬養<br>書記..喜田、橋本<br>会計..白鶴                                    |
|                                                         |                              | 二、会報二八号発送について                                                       |
|                                                         |                              | *六月九日予定                                                             |
|                                                         |                              | 力、写真パネル輸送の梱包                                                        |
|                                                         |                              | 模に行なう                                                               |
|                                                         |                              | オ、写真展を銀行などで小規                                                       |
|                                                         |                              | 模に行なう                                                               |
|                                                         |                              | ア、五〇周年にむけて考へる                                                       |
|                                                         |                              | イ、陳情署名はどうか                                                          |
|                                                         |                              | ウ、県・市などの歴史館の動                                                       |
|                                                         |                              | のコメントでも結構です。                                                        |